

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～26℃台を示し、かなり低め～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——シケの日が多かった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の75%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり39kgの水揚げで、前週の26%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり39kgの水揚げで前週の41%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり618kgの水揚げで、前週の24%（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川町地区では、アオリイカなどが1日1統当たり28kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり275kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり291kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり142kgの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/9～7/14の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は北海道西沖に出漁。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～能登半島沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～能登半島沖～山形沖に形成された。主漁場は山口沖、隠岐海峡及び能登半島沖となった。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>